

IK INABATA

稲畑産業株式会社

第**165**回 定時株主総会

IK

2026年6月16日



スマートフォン・携帯電話での
ご通話はお控えいただき、
マナーモードへの設定をお願い申し上げます。



録音・録画機器の会場へのお持ち込みは、
ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。



本総会は、
ライブ配信およびビデオ収録を
実施させていただいております。

IK INABATA

稲畑産業株式会社

第**165**回 定時株主総会

IK

2026年6月16日

IK INABATA

稲畑産業株式会社

第**165**回 定時株主総会

IK

2026年6月16日

株主総会ライブ配信について

- 本総会はインターネットによるライブ配信を併せて実施しております。
- 会場後方からの撮影としておりますが、やむを得ず株主様が映り込む場合がございます。
- 株主様のご発言につきましても中継されます。

招集ご通知のページ番号について



本総会においてご案内する招集ご通知のページ番号は、
総会会場でお配りした招集ご通知もしくは、
当社ウェブサイト等に掲載しております
第165回定時株主総会招集ご通知のページ番号を使用いたします。

書面交付請求されていない株主様へ事前に送付した招集ご通知は
抜粋版となっており、ページ数が異なっております。

IK INABATA

稲畑産業株式会社

第**165**回 定時株主総会

IK

2026年6月16日

1 報告事項の報告

2 議案の上程

3 質疑応答

4 採決

IK INABATA

議決権に関する報告

IK INABATA

監査報告

招集ご通知 P.73-74

IK INABATA

報告事項

IK INABATA

第165期（2026年3月期）
事業報告

招集ご通知 P.37-68

IK INABATA

事業の経過及びその成果

世界経済

- 一部の地域において弱さがみられるものの、
総じて緩やかな回復傾向
- 中東情勢を始めとして先行きに対する
不透明感が高まる

米国

設備投資や生産を中心に、
景気は緩やかに拡大

中国

不動産市場の停滞による影響などにより、
景気はやや減速



世界経済

アジア 新興国

インド

拡大

インドネシア

緩やかに回復

タイ

持ち直しの動き

欧州

ユーロ圏

消費や設備投資を中心に
持ち直しの動き

英国

持ち直しているものの、
ペースは緩やか

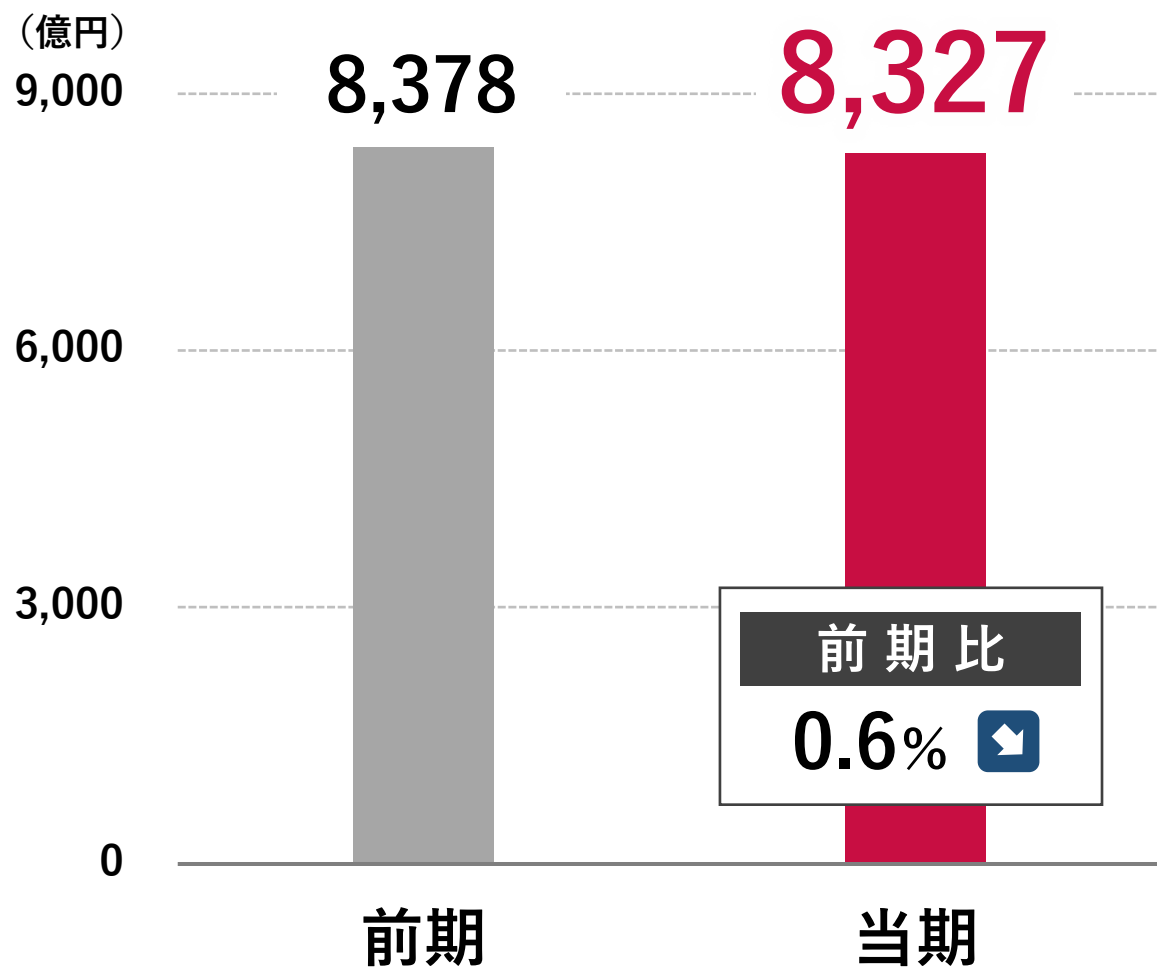


日本経済

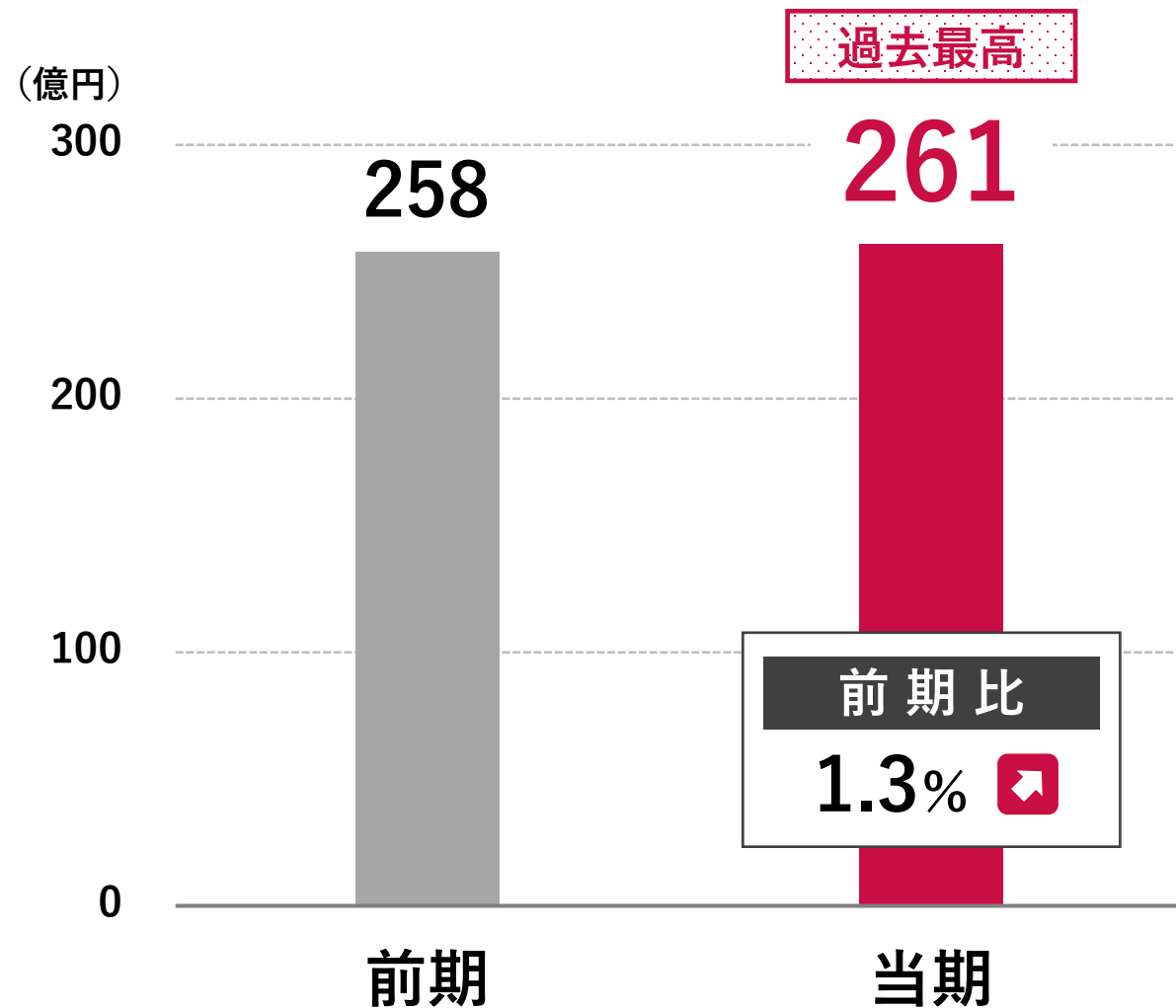
- 緩やかに回復
- 個人消費や設備投資は緩やかに持ち直し
- 雇用情勢にも改善の動き
- 輸出や生産は概ね横ばい
- 企業収益は、米国の通商政策による影響が残るものの、改善の動き



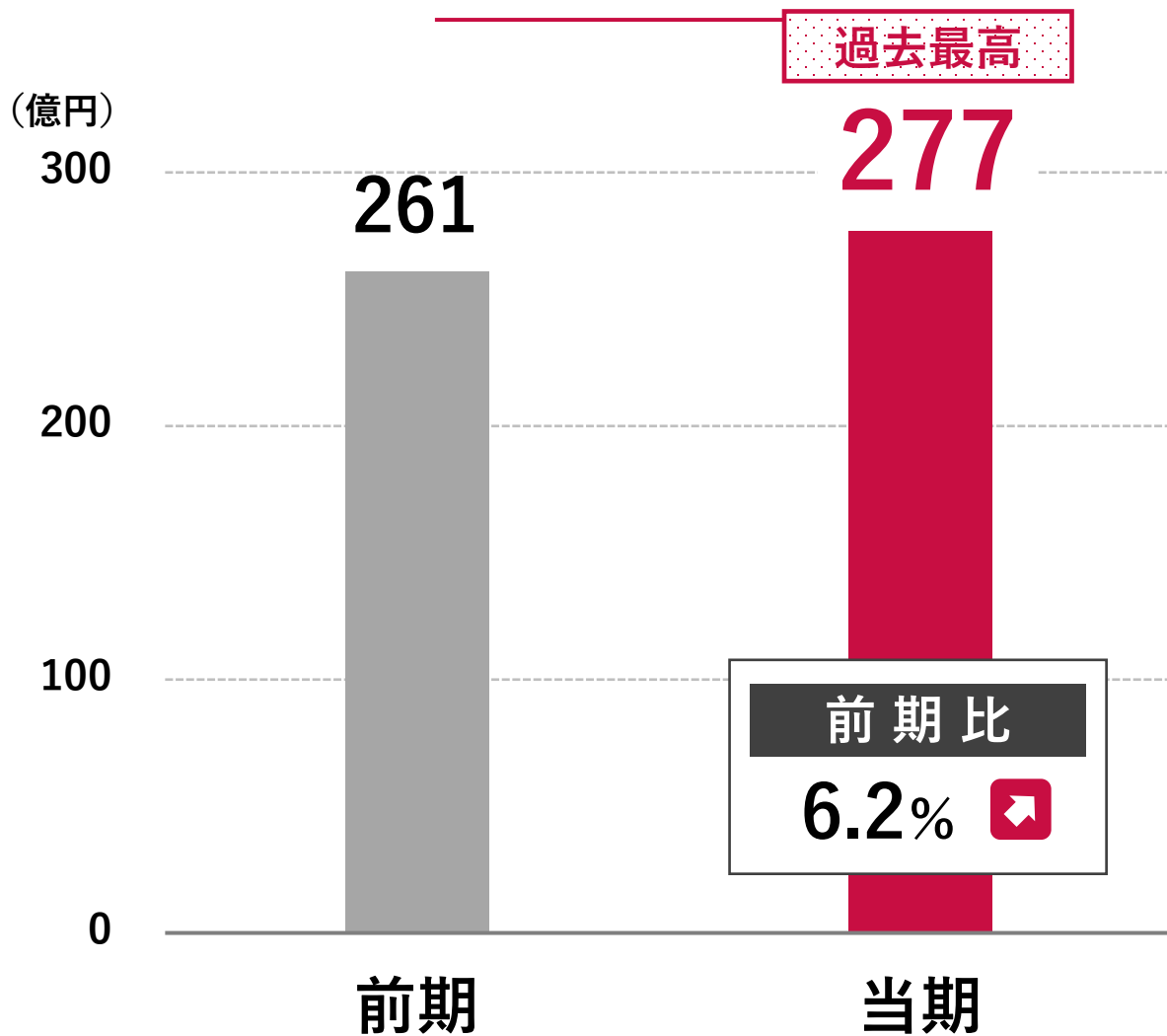
売上高



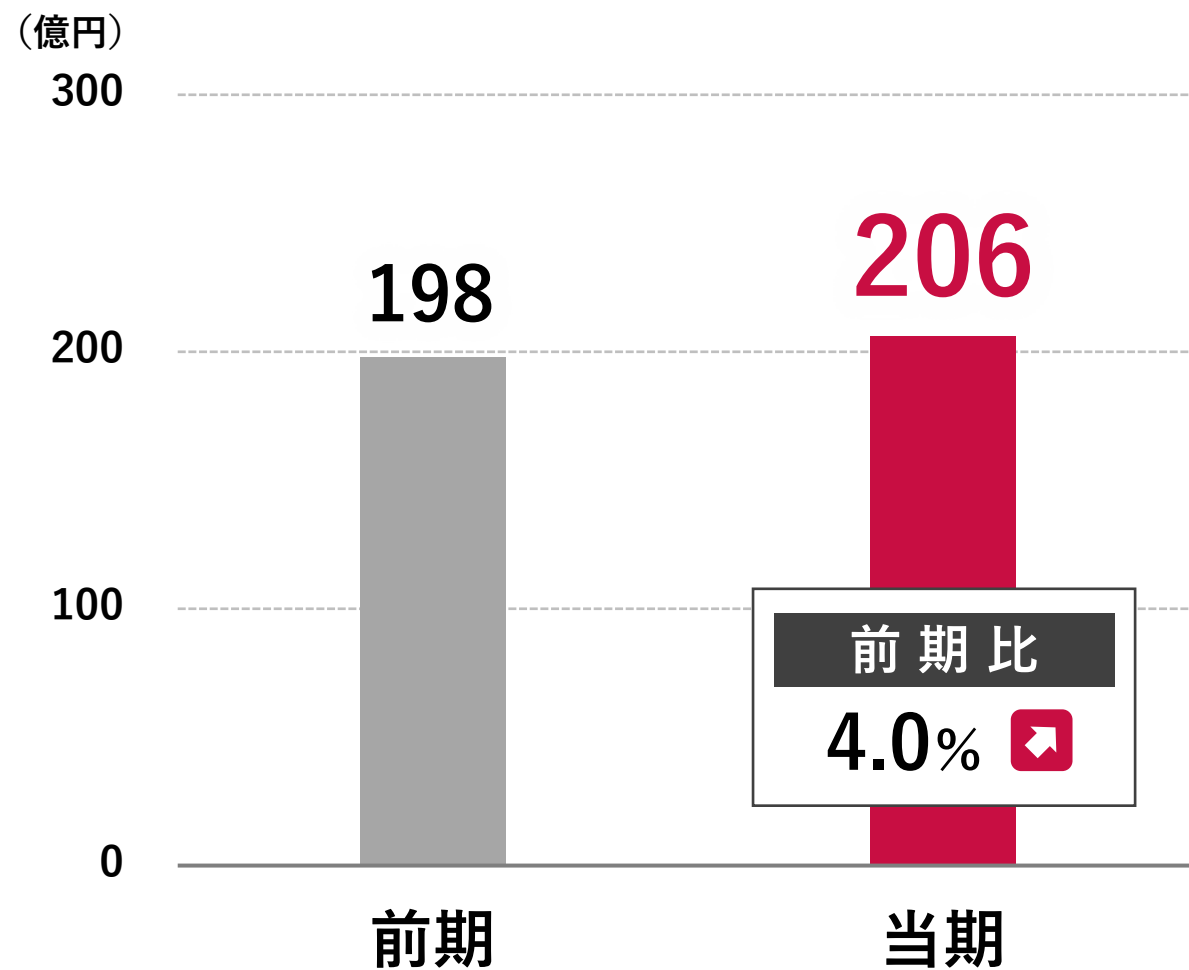
営業利益



経常利益

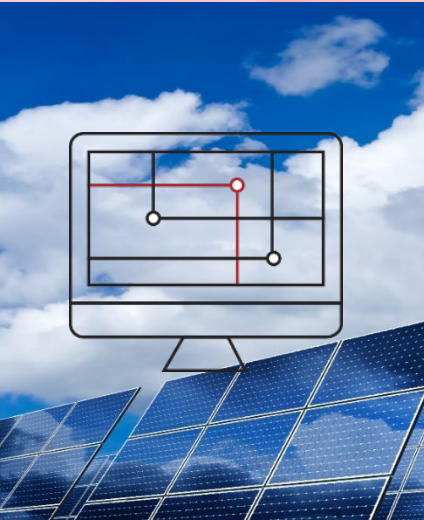


親会社株主に帰属する 当期純利益



事業区分別の概況

招集ご通知 P.38-40

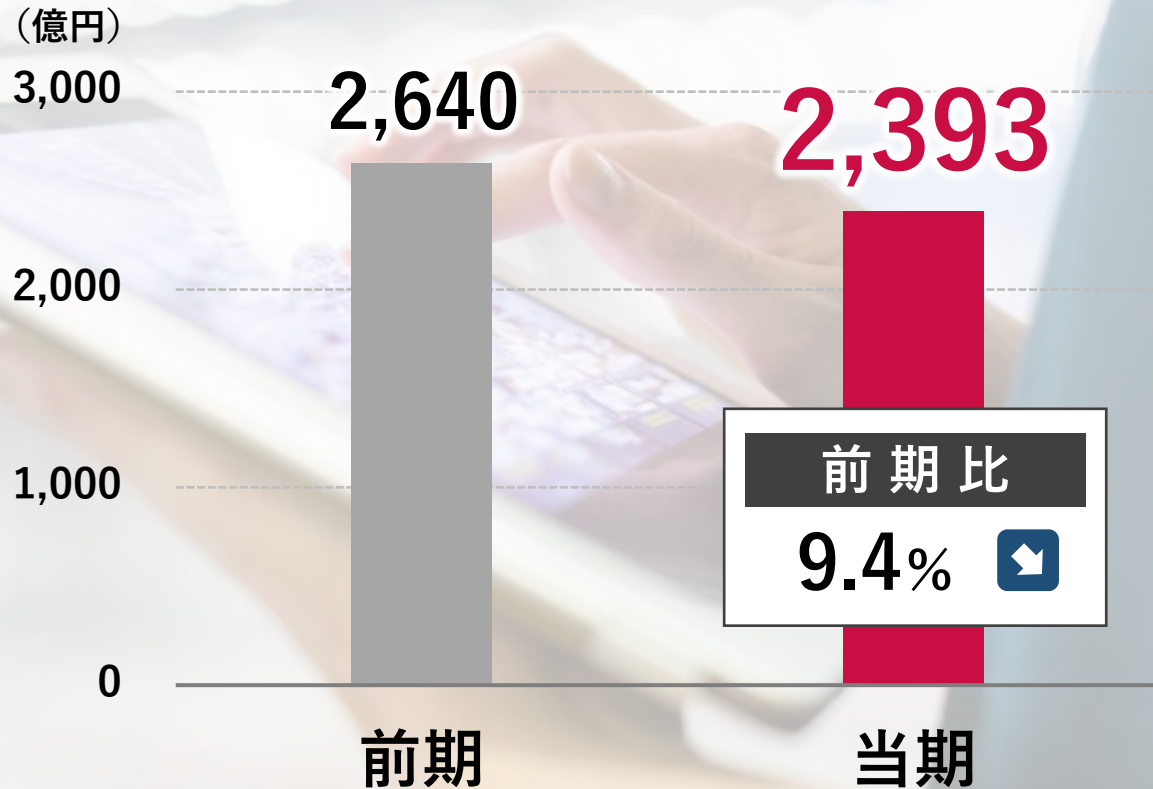


情報電子事業

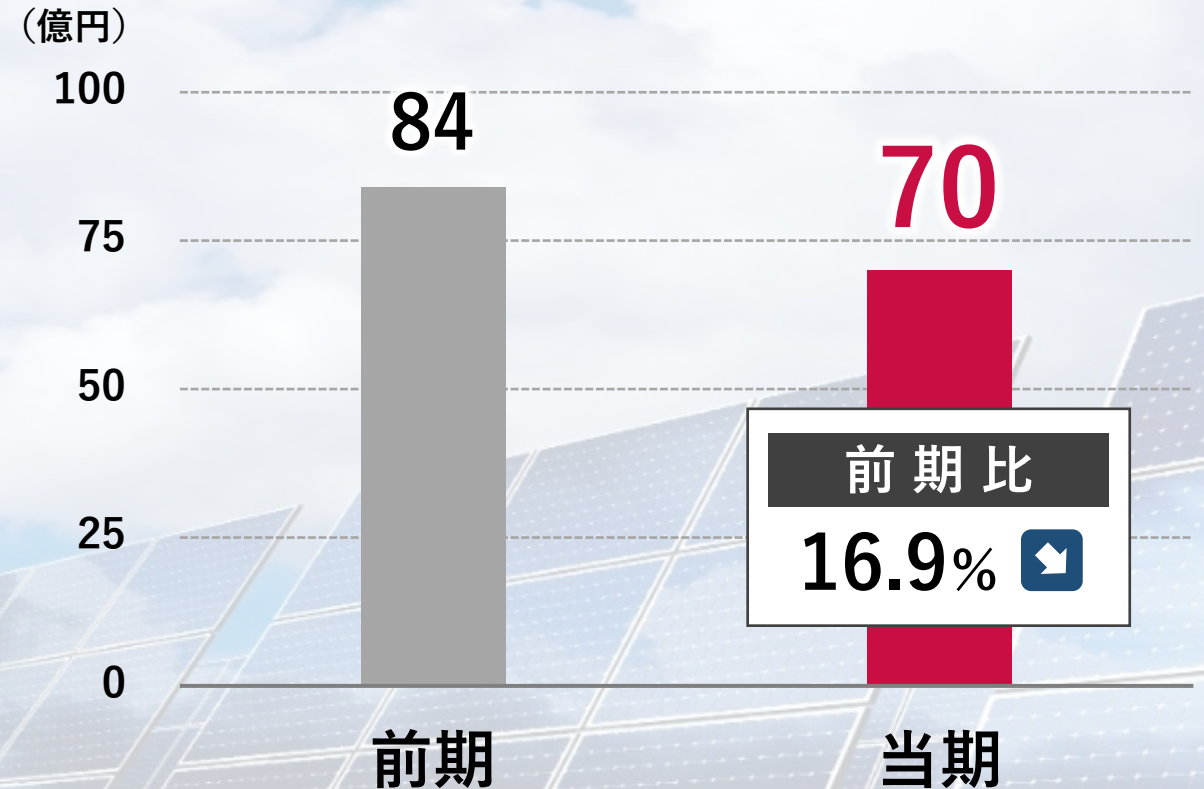


- 大型装置の販売が当連結会計年度に無い
- 太陽光発電の関連材料の販売が減少

売上高

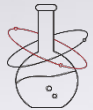


営業利益



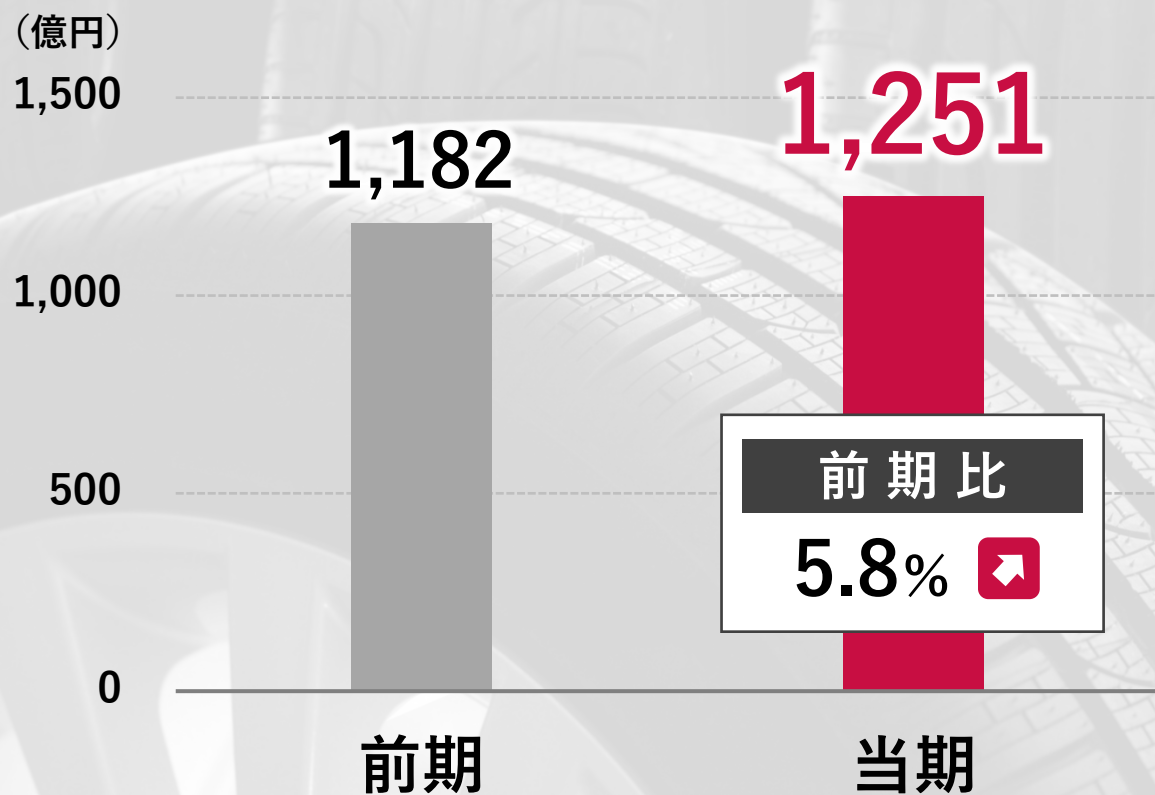


化学品事業

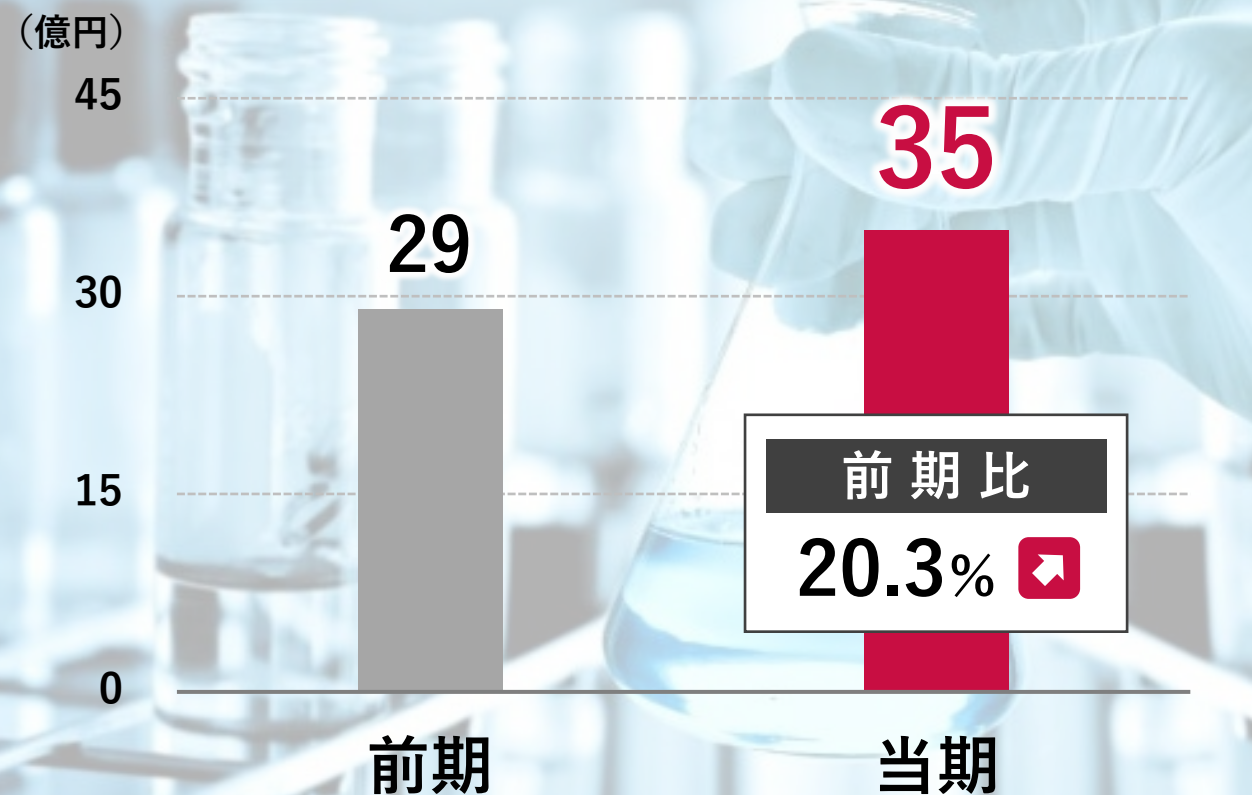


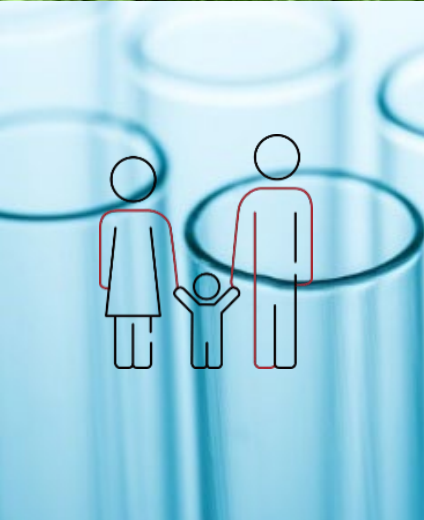
■ 自動車部品用原料と塗料・インキ・接着剤関連の販売が増加

売上高

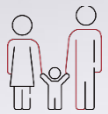


営業利益





生活產業事業



■ ライフサイエンス関連、食品関連とも総じて好調

売上高

(億円)

600

400

200

0

537

601

前期比

11.8%

前期

当期

営業利益

(億円)

30

20

10

0

11

22

前期比

88.5%

前期

当期

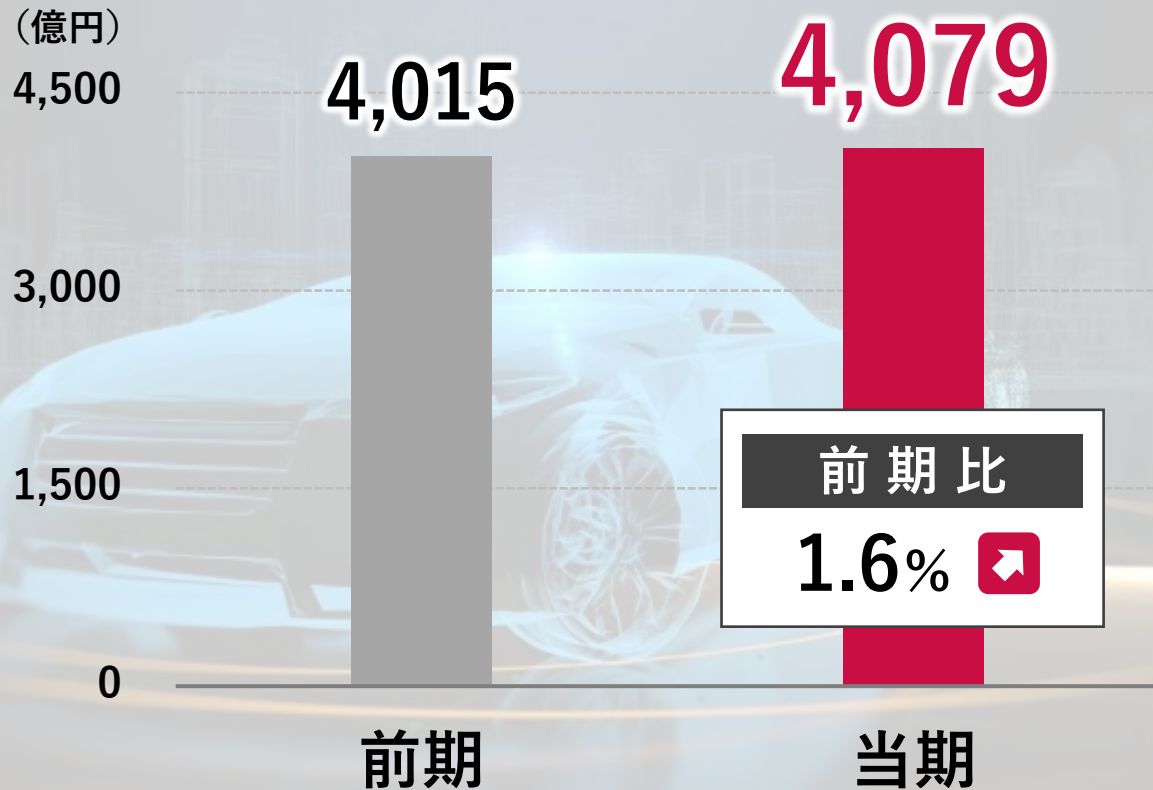


合成樹脂事業

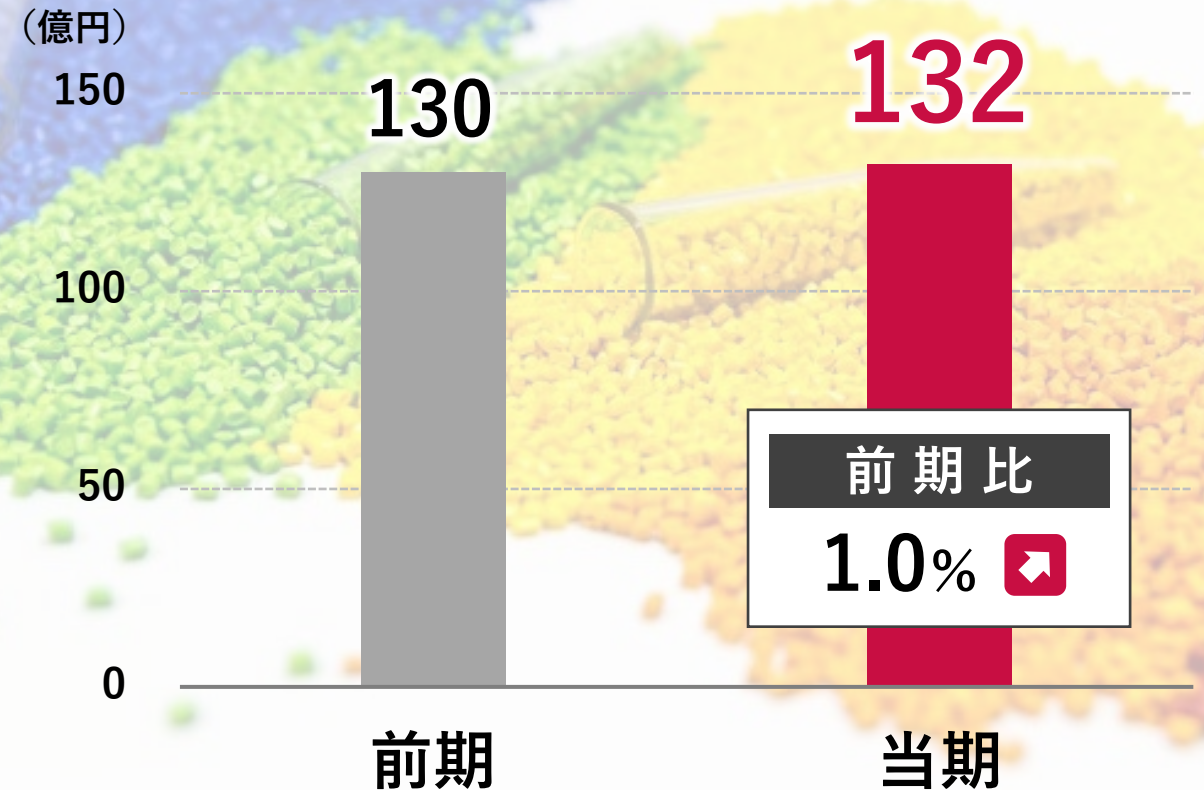


■ 総じて各分野向けで堅調に推移

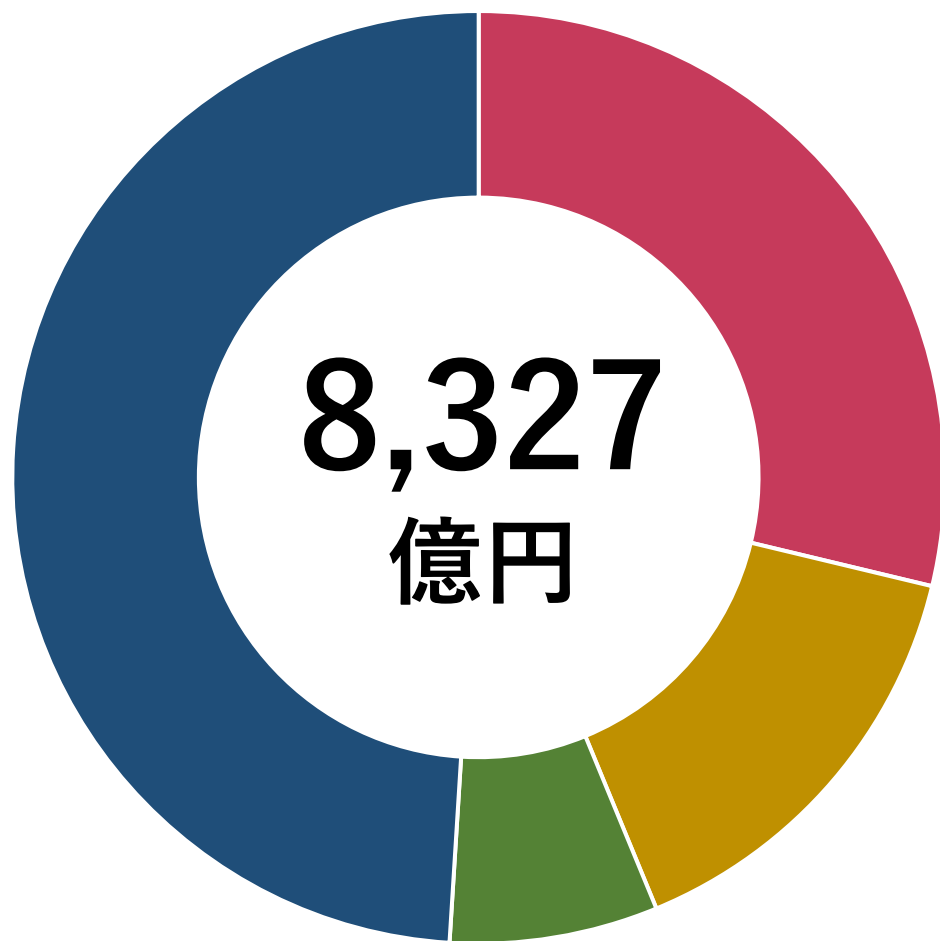
売上高



営業利益



2026年3月期 事業区分別売上高構成比（連結）



情報電子

28.8%

2,393億円

化学品

15.0%

1,251億円

生活産業

7.2%

601億円

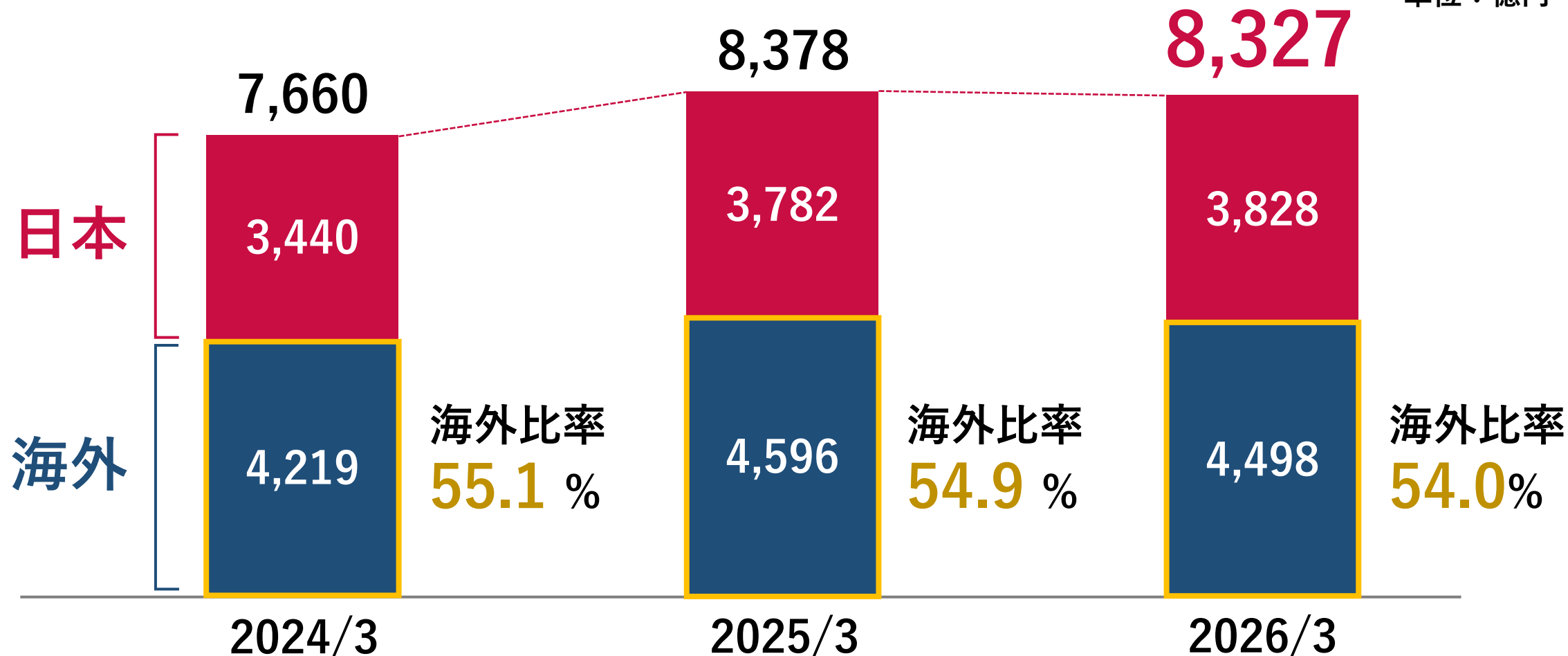
合成樹脂

49.0%

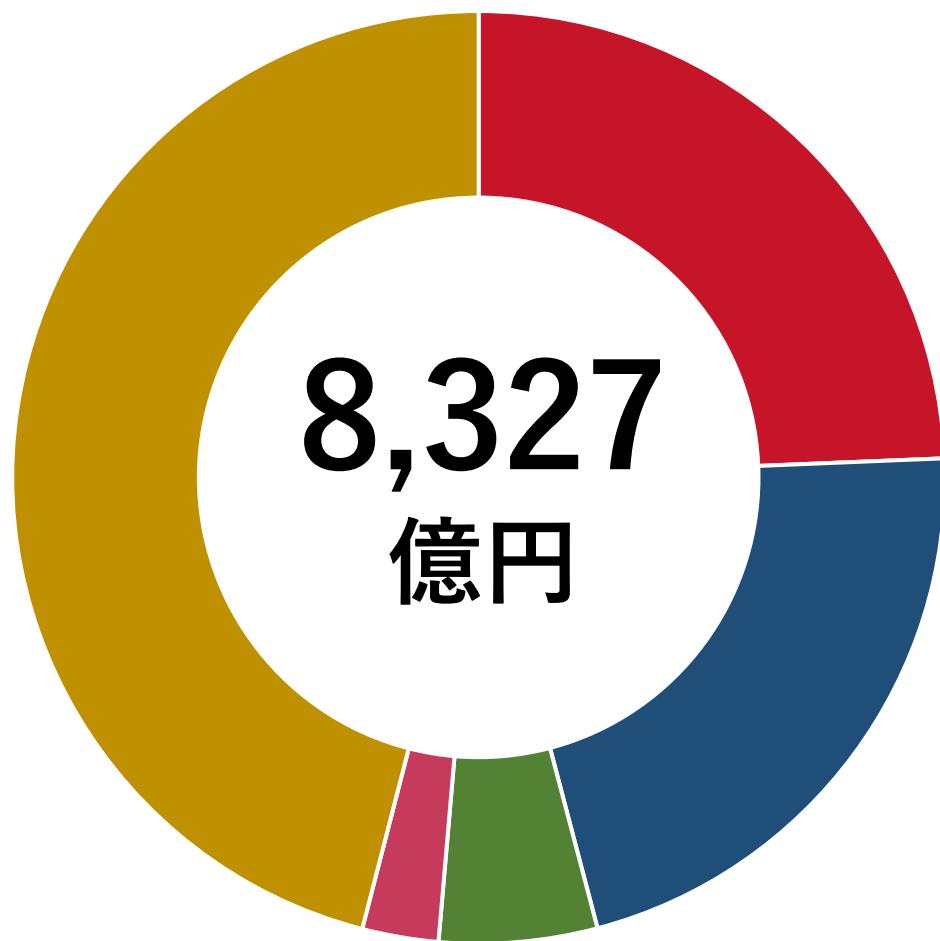
4,079億円

国内・海外売上高推移（連結）

単位：億円



2026年3月期 地域別売上高構成比（連結）



東南アジア

24.4%

2,027億円

北東アジア

21.5%

1,794億円

米州

5.5%

456億円

欧州

2.6%

220億円

日本

46.0%

3,828億円

IK INABATA

連結計算書類

招集ご通知 P.69-70

連結貸借対照表

招集ご通知 P.69

連結貸借対照表

IK INABATA

資産の部

負債の部

一株当たり純資産額

4,416円83銭

自己資本比率

47.3%

資産合計
4,981億円

流動資産
固定資産

負債合計
222億円
1,844億円
677億円

資産の部

資産合計

2,459億円

連結損益計算書

招集ご通知 P.70

連結損益計算書

IK INABATA

売上高

8,327億円

前期比

0.6% 

営業利益

一株当たり当期純利益

前期比

1.3% 

384円84銭

経常利益

前期比

6.2% 

親会社株主に帰属する
当期純利益

206億円

前期比

4.0% 



連結株主資本等変動計算書 連結注記表

当社ウェブサイト等に掲載

**単体の貸借対照表
単体の損益計算書
単体の株主資本等変動計算書
個別注記表**

当社ウェブサイト等に掲載

その他の事業報告、及び監査報告につきましては、
当社ウェブサイトなどに掲載しておりますので、
ご参照いただきますようお願い申し上げます。

対応すべき課題

招集ご通知 P.46-54

経営理念 「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する

目指す姿

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、グローバルに事業を展開することにより、価値ある存在として常に進化を続ける

IK Values
価値観

倫理観、志、組織風土、機能、共生

長期ビジョン

IK Vision 2030（2030年頃の将来像）

中期経営計画

第3ステージ **NC2026（2027年3月期目標）**

第2ステージ NC2023（2024年3月期終了）

第1ステージ NC2020（2021年3月期終了）

中期経営計画「NC2026」最終年度の目標数値・指標

2027年3月期目標数値・指標	
売上高	9,500億円
営業利益	270億円
経常利益	260億円
親会社株主に帰属する当期純利益	190億円
ROE	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.5倍以下
自己資本比率	概ね50%前後
想定為替レート	145.00円/USD

※目標数値は2024年5月公表の計画値

長期ビジョン「IK Vision 2030」

中期経営計画「NC2026」

メインテーマ

- 投資の積極化により成長を加速する
- サステナビリティ中期計画を新たに策定し、経営の重要課題(マテリアリティ)に対処する

全社 成長戦略

セグメント 成長戦略

経営基盤戦略

財務戦略

サステナビリティ戦略
(人事戦略を含む)

デジタル戦略

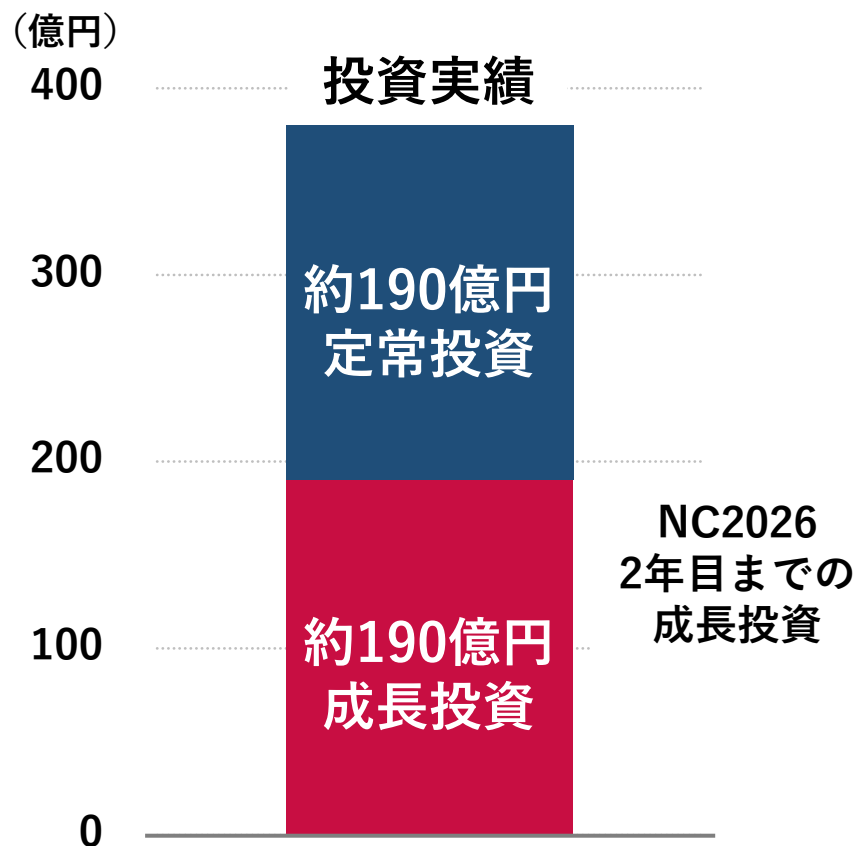
長期ビジョンに向けた成長戦略

長期ビジョン	戦略
連結売上高 1兆円以上	<ul style="list-style-type: none">■ 手段：投資の積極化による収益拡大■ 事業領域：環境関連ビジネス、食品等生活産業ビジネスの拡大
複合機能の 高度化	複合機能（特に製造・物流）強化による差別化・収益性向上
事業 ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none">■ 主要セグメント（合成樹脂・情報電子）の深耕■ 主要セグメントに並ぶ収益の柱の確立
海外比率 70%以上	<ul style="list-style-type: none">■ 成長エリア（従来のアジア拠点に加え、インド・メキシコなど米州）の深耕■ 未開拓エリア（東欧等）への進出

成長に向けた取り組み

NC2026

キャピタルアロケーション計画
330～390億円程度



主な成長投資案件

M & A

- ノバセルの設立
- 大五通商の子会社化（一部）
- 佐藤園の子会社化

事業投資等

- 環境・エネルギー関連
- 半導体関連
- 自動車向け素材
- 食品関連
- 樹脂添加剤、再生樹脂関連

M&A 3社の収益貢献
(2026年3月期単年度)

売上高 約270億円程度
営業利益 約19億円程度

成長に向けた取り組み：「NC2026」2年目までの投資実績

事業区分	取り組み	狙い等
情報電子事業	バイオマス発電事業への出資	環境・エネルギー関連ビジネスの拡大
	半導体ウエハの研究開発、製造、販売を行う企業への出資	半導体関連ビジネスの拡大
化学品事業	合成ゴム及びシリコンゴム部品の生産能力増強	自動車分野における素材の拡大
生活産業事業	大五通商の子会社化（一部）	食品ビジネスの川上・川下領域強化
	茶の栽培・製造・販売を行う佐藤園の子会社化	
	加水分解物の製造・販売を行う企業への出資	
	植物性代替肉商品の開発・企画・販売を行う企業への出資	
合成樹脂事業	ノバセルの設立	コンパウンド機能の拡充と高度化
情報電子事業・合成樹脂事業	高機能フィラー製造会社への出資	プラスチック製品の軽量化・再資源化を通じた成形材料拡販

経営基盤戦略

経営基盤	戦略
財務戦略	資本効率のさらなる向上と 累進配当を始めとする株主還元の重視
サステナビリティ 戦略	「サステナビリティ中期計画2026」においてマテリアリティ に沿った戦略とKPI・目標の設定及びモニタリング
デジタル戦略	経営情報インフラの高度化とグループ全体のセキュリティ強化

2026年3月期までの株主還元方針

株主還元の 基本方針

- 一株当たりの配当額については
前年度実績を下限とし、減配は行わず、
継続的に増加させていくことを基本（**累進配当**）
- 総還元性向の目安としては概ね50%程度

2027年3月期からの株主還元方針

株主還元の 基本方針

- 配当総額については、
DOE（株主資本配当率）* 1 4～4.5%を目安
- 一株当たりの配当額については
前年度実績を下限とし、減配は行わず、
継続的に増加させていくことを基本（累進配当）
- 各年度の総還元性向* 2は50%以上を原則

* 1 DOE（株主資本配当率） = 配当総額 ÷ 株主資本 × 100（%）

* 2 総還元性向 = （配当総額 + 自己株式取得総額） ÷ 連結純利益 × 100（%）

政策保有株式の縮減方針

- 中長期的に政策保有株式の縮減を更に進め、
2027年3月末までに2021年3月末残高に対して
概ね80%削減

※当初の方針である「「NC2023」期間中の3年間で政策保有株式の残高を2021年3月末残高に対して50%削減する」については既に達成済み

キャピタルアロケーション

営業キャッシュフロー等
650億円程度



投資等
50～60%程度

株主還元
40～50%程度

中期経営計画「NC2026」2年目の目標数値・指標と実績

	2026年3月期	
	実績	目標数値・指標
売上高	8,327億円	8,900億円
営業利益	261億円	245億円
経常利益	277億円	235億円
親会社株主に帰属する当期純利益	206億円	175億円
ROE	9.3%	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.06倍	0.5倍以下
自己資本比率	47.3%	概ね50%前後

※実績為替レートは¥150.67/USD

※目標数値は2024年5月公表の計画値

中期経営計画「NC2026」最終年度の目標数値・指標と見通し

	2027年3月期	
	目標数値・指標	見通し
売上高	9,500億円	8,900億円
営業利益	270億円	275億円
経常利益	260億円	275億円
親会社株主に帰属する当期純利益	190億円	210億円
ROE	10%以上	10%以上
ネットD/Eレシオ	0.5倍以下	0.5倍以下
自己資本比率	概ね50%前後	概ね50%前後
想定為替レート	145.00円/USD	155.00円/USD

※目標数値は2024年5月公表の計画値

サステナビリティへの対応

2024年5月に策定した
「サステナビリティ中期計画2026」
における、気候変動・人的資本といった
中長期的な課題

重要な経営テーマとしてKPI・目標に
落とし込み、毎年進捗を確認



環境分野

- GHG排出量削減に向け、当社及び国内連結子会社、海外連結子会社の一部において
使用電力の実質再生可能エネルギー化を進める
- 環境関連ビジネスを取り巻く事業環境の変化に注視

成長を支える人材への投資

従業員エンゲージメントサーベイを国内外グループに拡大・実施

- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- 海外拠点におけるナショナルスタッフの登用
- 経営理念浸透を目的としたワークショップの開始
- グローバル人材の育成
- M&Aで加わったグループ会社の人事制度整備等
- 健康経営優良法人「ホワイト500」の認定を初めて取得

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

主な取り組み	
成長	実施済み投資案件の着実な収益化とさらなる積極投資の実施
資本効率	株主資本コストを継続的に上回るROE水準（10%以上）の維持
	継続的な自己株式取得・消却による株主資本のコントロール
資本コスト低減	情報開示の充実・対話の拡充を通じた株主資本コストの低減

世界経済

- 中東情勢の悪化により、ナフサ由来原料の調達難や価格の高騰
- 企業業績悪化や消費低迷による景気悪化が懸念され、グローバルで樹脂や化学素材を取り扱う当社グループを取り巻く環境は非常に不透明な状況

当社グループの商社機能を基本としたビジネスモデルの強み・
現場における調達力の発揮



「NC2026」の目標達成に向けて、
グループ全社で各戦略に取り組み、着実に進捗させていくこと

剰余金の配当等の 決定に関する方針

招集ご通知 P.58

第165期 2026年3月期の株主還元の基本方針

- 累進配当の継続実施
- 総還元性向※の目安としては概ね50%程度

※総還元性向（％）＝（配当金額＋自己株式取得額）÷ 連結純利益 × 100

※第165期 総還元性向実績値：48.8%

第165期 一株当たりの配当金

中間配当金

63円/株

期末配当金

65円/株

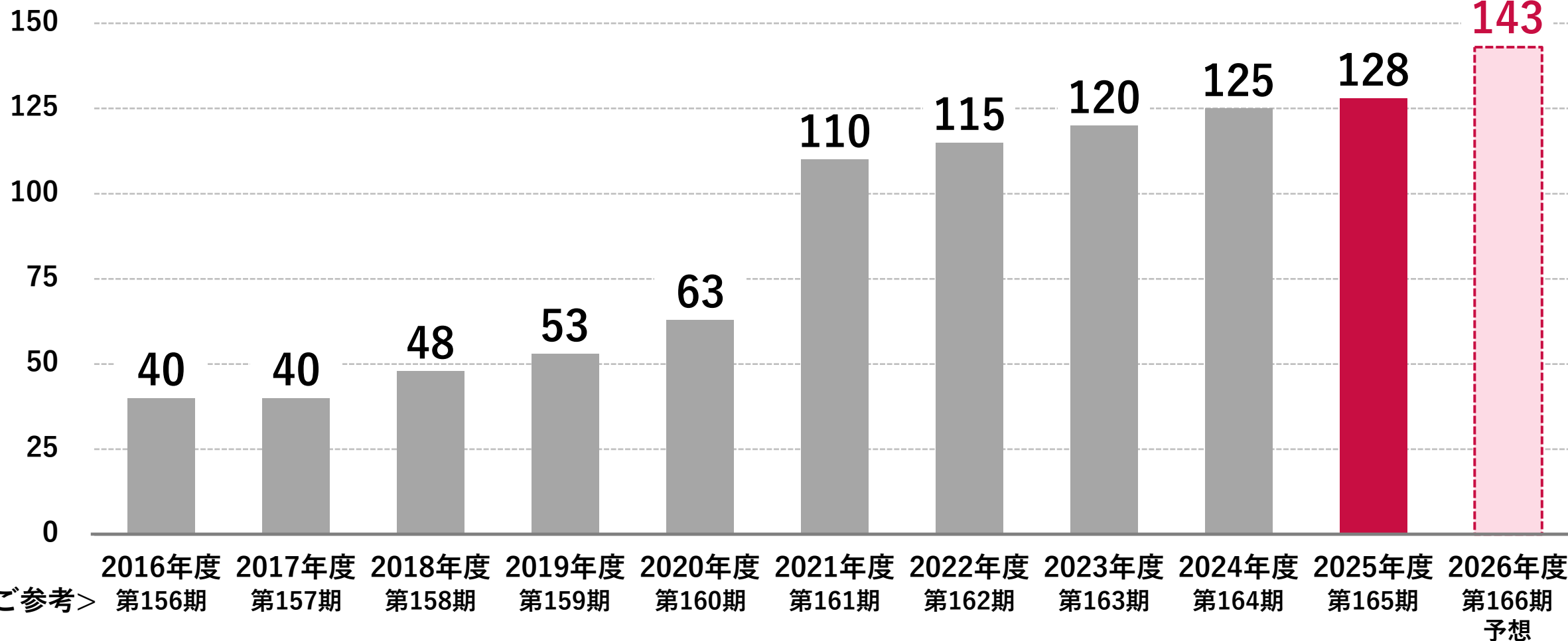
年間配当金

128円/株

剰余金の配当等の決定に関する方針

一株当たりの配当金の推移

(単位：円)



対処すべき課題
剰余金の配当等の決定に関する方針

IK INABATA

決議事項

招集ご通知 P.8-22

第1号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）

7名選任の件

取締役候補者



いなばた かつたろう
稲畑 勝太郎

再任

取締役候補者



よこた けんいち

横田 健一

再任

取締役候補者



たかはし ゆたか
高橋 豊

新任

取締役候補者



たけした のりあき

竹下 憲昭

再任

取締役候補者



ちょうなん

おさむ

長南 収

再任

社外

独立

取締役候補者



すえかわ ひさゆき

末川 久幸

再任

社外

独立

取締役候補者



いけがき まり
池垣 真里

再任

社外

独立

女性

第2号議案
監査等委員である
取締役 4 名選任の件

招集ご通知 P.17-22

監査等委員である取締役候補者



く ぼ い のぶかず
久保井 伸和

再任

監査等委員である取締役候補者



いとう しほ
伊藤 志保

再任

社外

独立

女性

監査等委員である取締役候補者



やすい よしかず

安井 義一

新任

社外

独立

監査等委員である取締役候補者



しんどう けいこ
新堂 桂子

新任

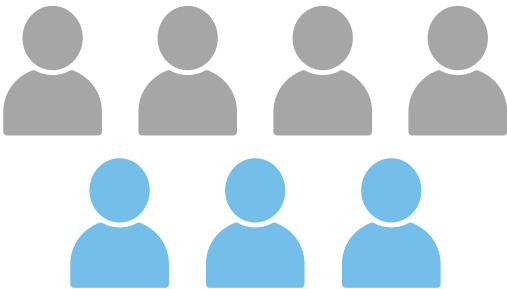
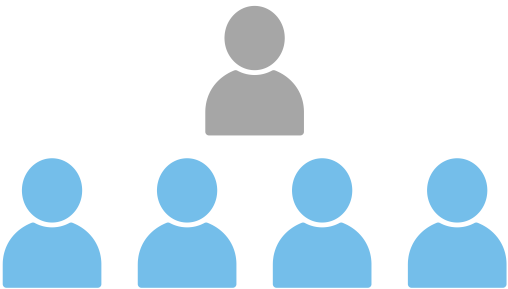
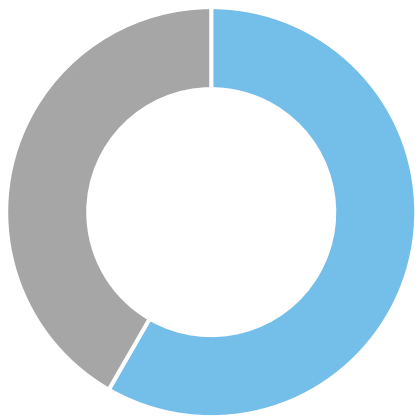

社外

独立

女性

取締役会の構成

監督機能を強化したモニタリング型の実効取締役会として
引き続き十分な体制が整うものと考えております

取締役（監査等委員を除く）	取締役（監査等委員）	独立社外取締役比率	女性取締役比率
<p data-bbox="300 696 428 791">7名</p>  <p data-bbox="282 1186 580 1253">社外 女性</p>	<p data-bbox="907 696 1034 791">5名</p>  <p data-bbox="894 1186 1192 1253">社外 女性</p>	<p data-bbox="1309 696 1837 791">58% (12名中7名)</p> 	<p data-bbox="1913 696 2440 791">25% (12名中3名)</p> 

承認可決された場合

当社取締役を求める専門性及び経験（スキルマトリックス）

	氏名 （*女性）	グローバル 経営	事業・業界知識		財務・ 会計	法務・ リスク管理・ 内部統制	人事・ 労務	IT・ デジタル	ESG
			化学・ 電子	食品・ 生活					
取締役	社内	稲畑 勝太郎	●	●		●	●		●
		横田 健一			●	●	●	●	●
		高橋 豊		●	●				
		竹下 憲昭		●		●	●	●	
	社外 ・ 独立	長南 収	●		●				
		末川 久幸	●		●				
		池垣 真里*					●		●
取締役 (監査等委員)	社内	久保井 伸和			●	●			●
		横田 乃里也		●	●		●	●	●
	社外 ・ 独立	伊藤 志保*			●	●			
		安井 義一				●	●		●
		新堂 桂子*		●			●		●



質疑応答（事前質問）

1

今後の成長戦略と
セグメント別課題について

2

**化学事業の
専任役員体制（専門性・人数）**

3 社長後継者の選定方針について

IK INABATA

質疑応答

質疑応答に際してのお願い事項

■ お配りしているカードのカラー面を掲げてください

■ 指名後、マイクスタンドにご案内いたします

■ 出席票番号とご質問をご発言ください

■ 1回につき1問とさせていただきます

IK INABATA

議案の採決

取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

いなばた かつたろう
稲畑 勝太郎

よこた けんいち
横田 健一

たかはし ゆたか
高橋 豊

たけした のりあき
竹下 憲昭

ちょうなん おさむ
長南 収

すえかわ ひさゆき
末川 久幸

いけがき まり
池垣 真里

監査等委員である取締役 4 名選任の件

く ぼ い のぶかず
久保井 伸和

い と う し ほ
伊藤 志保

や す い よしかず
安井 義一

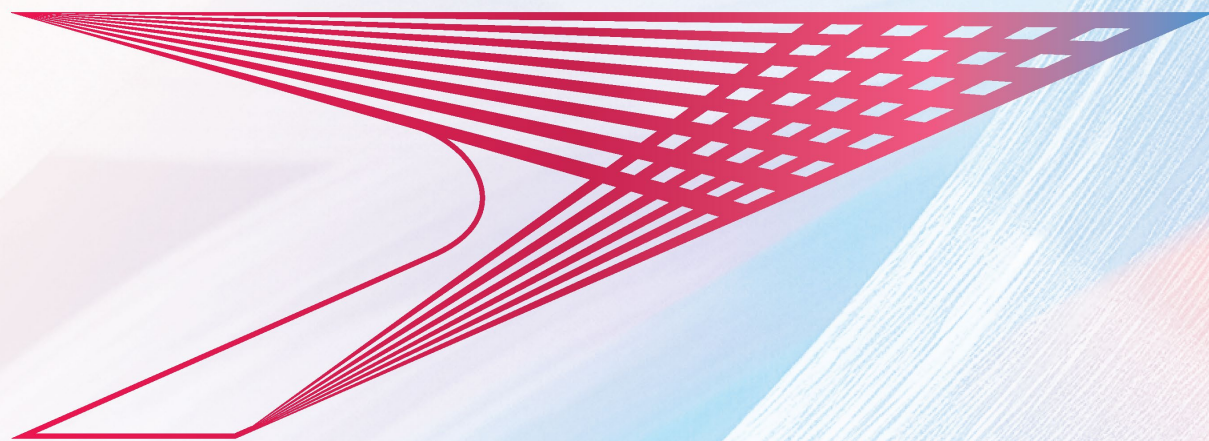
しんどう けい こ
新堂 桂子

IK INABATA

閉会



新任取締役紹介



当たり前をつなぐ、未来を紡ぐ。

IK INABATA